

君の「個」を磨く場所へ

ウィズコロナの時代に、「個」がクローズアップされています。

「3密」を避けるために、集まりの場がなくなり、多くの人々が一堂に会する機会が少なくなっています。これまで普通に行われてきた、入学式、学年集会、球技大会、高校総体、勉強合宿などが、分散開催されたり中止になったりしていますよね。授業でさえも、リモートになる場合もあります。君はいや応なしに一人になり、「自分自身」を意識しなければなりません。自分はこれでいいのか、自分とは何か、自分は何を考えてどう行動すべきかと悩み、不安になることもあるでしょう。

さらに今、学校に限らず、仕事やさまざまなサービスの場で「個」が意識されており、今後は1対1のやりとりの場面が増えていきます。そこでは、自身の考えや選択をきちんと相手に伝える表現力と批判的視点がとても重要視されるようになるでしょう。少し分かり辛いでしょか。例えば、君たちは、友人と

のSNSでのやりとりでは、誤解がないように表現し、ネット上にあふれる情報をうのみにして信じるのは危ないと感じていると思います。個の表現力と批判的視点とは、そういう日常的な気遣いの中に含まれているのです。

これからはこのような「個」の力や魅力がますます重要視されていきます。

長崎大学でも、「個」を磨き表現する講義が数多く導入されています。さらに、多くの情報をどう処理して批判的視点で捉えるかを、講義や書籍を通して学べます。社会へ出る前に、君の「個」を養い、磨き、鍛える場所が大学なのです。

君は今、大変厳しい環境の中、一人で受験勉強をしていることでしょう。その経験、つまり「自分自身」と向き合っている経験は、必ず将来に役立ちます。この夏も困難な状況だとは思いますが、私は、真摯に自分自身と向き合っている君にエールを送りたいと思います。

君の「個」を磨く場へ向かって、頑張ろう。



河野 茂

CONTENTS

長崎大学広報誌
[チョーホー]
Choho Vol.76

本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌 Choho vol.〇から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡願います。

学長室だより 君の「個」を磨く場所へ

1

表紙のはなし

特集 My 研究室 Life
Vol.1 水産学部・工学部・薬学部 一研究の醍醐味を知る! 大学院生編

2

卒業生に聞く 山崎直人さん

15

地域で活かされる
長崎大学の「知」 太古の歴史を伝える炭酸泉
知られざる起源を調査

17

サークルの星 演劇部いろは団/競技かるた部/
長崎大学チアリーディング部BERRIES

19

Information 入試情報サイト クイズ&編集後記

21

梅雨の晴れ間に撮影した今回の表紙。モデルの長谷川悠波さんは、ニホンウナギの研究に取り組んでいる大学院生です。実験に必要な個体を捕獲するために、研究室を飛び出して川へ出かける日もあるのだとか。詳しい研究内容は、特集をご覧ください。